

ANTARI

F-3

フェイザーマシン



▶ 製品の特徴

この度はANTARI製の照明演出機器F-3をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

本製品の性能を十分に発揮させ、未永くお使い頂くために、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読み頂き、大切に保管して下さい。

Antari[F-3]はフライトケース一体型のFAZERマシンです。ケースに収納したまま使用出来るため、従来のFAZERに加えて駆動音が静かになりました。最新のエアポンプシステムによりリキッドの消費量を最小限に抑え、また使用後ヒーター内部に液が残りにくい設計が施され、より長いライフサイクルを実現します。

寸法はおおよそ4Uサイズで奥行きも蓋を外すと380mm程度と通常のツアーラックの大きさとかわらないため運搬も容易です。

※本体を移動、運送される際は必ずタンクから液体を抜いて運搬して下さい。

パッキングリスト

1. 本体
2. 電源ケーブル
3. タンク
4. 取り扱い説明書



重要

F-3 内部に残ったリキッドを取り除くため操作後全ての液体がパイプから排除されるまで出力を続けて下さい。おおよその時間として約6分程度かかります。

—※ ご注意 ※—

内部リキッドパイプ内に液が残ると移動などの際に液が逆流してセンサーの誤作動を引き起こすおそれがあります。

定期的な本体下部に取り付けてあります。換気フィルターを清掃して下さい。フィルターに埃が付いていると換気が十分出来ずに本体の寿命を短くする恐れがありますので丁寧に埃を取り除いて下さい。

安全上のご注意

ご使用の前に、かならずよくお読みください。

ここに記載の注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただくためのもので、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然にふせぐためのものです。かならず遵守してください。

この取扱説明書は、使用者がいつでも見ることができる場所に保管してください。



警告

「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容について記載しています。

電源 / 電源ケーブル



電源は必ず交流 100V を使用する。
発電機やステップアップトランスなどは不安定なものがあります。火災や感電のおそれがありますので、使用には充分にご注意ください。



異なる電圧機器を混在しない。
電圧・仕様の異なる機器を混在しないでください。



付属の電源ケーブルは、本機専用です。
付属以外の電源ケーブルは、故障・火災・発熱などの原因となります。
また日本国外で使用する場合は、お買い上げの販売店または発売元にご相談ください。



電源ケーブルをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり傷つけたりしない。ケーブルの上に重いものを載せない。
電源ケーブルが破損し、感電や火災の原因になります。

設置



この機器を開けたり、内部部品を分解・改造したりしない。
感電や火災、けが、やけど、または故障の原因となります。
異常を感じた場合は、お買い上げの販売店または発売元にご相談ください。



この機器の冷却口をふさがないように設置する
ファンなどによる冷却をさまたげないように注意してください。また、高温を発生する場合がありますので、可燃物等からはなして設置してください。

水に注意



この機器の上に、液体のはいたものを置かない。また、浴室や雨天・霧の屋外などの湿気の多い場所で使用しない。
本機は屋内専用です。感電や火災の原因となります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電のおそれがあります。

レーザー



レーザーを使用する場合は
レーザー光を直接見ない。
失明等の原因となる場合があります。

異常に気付いたら



電源ケーブルやプラグが傷んだ場合、または使用中に音が出なくなったり異臭や煙が発生した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。
感電や火災、または故障の原因となります。異常を感じた場合は、お買い上げの販売店または発売元にご相談ください。



この機器を破損した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。
感電や火災、または故障の原因となります。異常を感じた場合は、お買い上げの販売店または発売元にご相談ください。



注意

「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容について記載しています。

電源 / 電源ケーブル



長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、かならずコンセントから電源プラグを抜く。
感電や火災、故障の原因になることがあります。



電源プラグを抜くときは、電源ケーブルを持たずに、かならず電源プラグを持って引き抜く。
電源ケーブルが破損して、感電や火災の原因になります。

設置



この機器を移動するときは、かならず電源ケーブルなどをすべて外した上で行う。
ケーブルを傷めたり、機器の破損や傷害の原因となります。



この機器を電源コンセントの近くに設置する。
電源プラグに容易に手の届く位置に設置し、異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。長時間使用しない場合は、かならず電源プラグをコンセントから抜いてください。



直射日光のあたる場所、日中の車内やストーブの近くなど、極端に湿度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多い場所では使用しない。
機器が変形したり、内部の部品が故障する原因となります。



不安定な場所に置かない。
この機器が点灯して故障したり、傷害につながる場合があります。



この機器の上に乗ったり重いものを載せたりしない。ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。
機器の破損や傷害の原因となります。

▶ 操作

1. フライトケースの前面を開けます
2. タンクのキャップを外し専用液をタンクに注ぎ再度キャップを締めます。次にタンクから伸びているホースを本体にしっかり取り付けて下さい。
3. 電源コードを本体に挿します。コネクターは差し込んだ後に右に回し必ずロックが掛かっていることを確認して下さい。
4. 本機には電源スイッチが付いておりません。電源コンセントを差し込んだ時点でウォームアップを始めます。
5. READY TO FAZER の表記が出るまで3分ほど待ちます。ウォームアップ中は煙は出力されません。
6. [VOLUME] ボタンを押すと 100% の出力で煙が出ます。止める際には再び [VOLUME] ボタンを押して止めます。

※注意

必ず専用のリキッドをご使用下さい。メーカーで定められていないリキッドを使用されますと故障の原因にもなります。また不明なリキッドを使用された場合、人体に対して有害な場合がありますので、ご使用はお控えください。他社リキッド使用でのトラブルに関しましては保証出来かねます。

▶ コントロールパネル

コントロールパネル

本体に取り付けられた LCD ディスプレイで出力レベル出力時間、DMX アドレスを設定します。

設定したパラメーターは自動的に本体にメモリーされます。

ファンクションメニューの設定

インターバルを設定する

[FUNCTION] ボタンを押し **INTERVAL SET** に合わせます。[UP][DOWN] ボタンで5秒から 200 秒の間でインターバルの時間を調整します。

デュレーションを設定する

[FUNCTION] ボタンを押し **DURATION SET** に合わせます。[UP][DOWN] ボタンで5秒から 200 秒の間でデュレーションを調整します。

出力レベルを設定する

[FUNCTION] ボタンを押し **Timer OUT** に合わせます。[UP][DOWN] ボタンで2% ~ 100% の間でインターバルの時間を調整します。

継続的に出力する場合の出力レベルの設定

[FUNCTION] ボタンを押し **Volume OUTOPUT** に合わせます。[UP][DOWN] ボタンで2% ~ 100% の間で出力レベルを決定します。

ファンスピードの設定

[FUNCTION] ボタンを押し **FAN SPEED20%** に合わせます。[UP][DOWN] ボタンでファンスピードを設定します。

▶ DMX アドレスの設定

コントロールパネル

本体に取り付けられた LCD ディスプレイで出力レベル出力時間、DMX アドレスを設定します。

設定したパラメーターは自動的に本体にメモリーされます。

DMX

[FUNCTION] ボタンで DmX512 に合わせます。[UP][DOWN] ボタンで DMX アドレスを設定します。DMX 操作に関する詳しい内容につきましては DMX512 の設定を参照ください。

タイマーモード

[TIMER] ボタンを押すと自動的に作動します。インターバルの設定時間が表示されカウントを始めます。もう一度 [TIMER] ボタンを押すとタイマーモードを止めることができます。

コンテニュー

[VOLUME] ボタンを押すことで、煙を持続的に出力することができます。もう一度 [VOLUME] ボタンを押すと終了させることができます。

ポンプセンサー ON/OFF

[MANUAL] ボタンを押しながら電源を入れると [AIRPUMP ON] の表示が点き、ポンプセンサーの設定ができます。[UP][DOWN] ボタンを押して ON/OFF の切り替えることができます。

▶ ポンプセンサー

Pump Sensor Error が表示されたら

F3 は、空気を送るポンプとリキッドを送るポンプの 2 種を組み合わせることでヒーターに液を送ります。Pump Sensor Error がディスプレイに表示された場合の対処については下記をご参照ください。

エアーポンプとリキッドポンプの合流部分でエアーポンプ側にリキッドが逆流することがあり、危険を知られるために搭載されているセンサーが反応しております。その際は、一度空吹きをして内部のリキッドを抜いて下さい。(保管される際にも同様の処置をします。) ※ヒーターが目づまりを起こして液が逆流する場合がございますので空吹きをしても改善されない場合は、ご購入元にお問い合わせください。

Air Pump Sensor の有効無効について

F3 の Pump Sensor はセンサーを有効にするか無効にするか本体側で設定が可能です。出荷時はセンサーが有効になっており、安全上の理由から有効のまま使用されることを推奨しています。

操作方法については下記の通りです。

1. manual ボタンを押しながら電源を入れる → Air Pump Sensor off または Air Pump Sensor On の表示が出ます
2. UP/DOWN キーで ON/OFF を選択します
3. ボリュームボタンで確定となります

アイドル状態で表示される表記は下記の通りです。

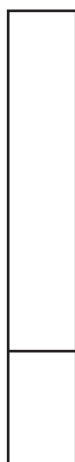
- Ready to S Fazer → Pump Sensor off
 Ready to Fazer → Pump Sensor on

▶ DMX512 設定

F-3 は 3pin 又は 5pin の XLR コネクターを用いて DMX 信号により操作することが出来ます。DMX で使用の場合は 2ch を使用します。ch1 は出力レベル、ch2 は FAN のスピード調整のチャンネルとなります。インターバルやデューレーションの設定については、お手持ちの DMX コントローラー又は PC ライティングコントローラーなどで設定して下さい。DMX で使用する場合は本体についているコントロールパネルで操作は不可能となります。

Channel A

アウトプットレベル



255

6-255= 出力
ボリュウム
2%-100%

0-5=OFF

Channel B

ファンスピード



255

0-255= 速度
20%-100%

0=20%speed

▶ スペック

- 電源：AC100V 50/60Hz
- ヒーター：800W
- 出力：3000cu,ft/min
- 消費量：3 時間 /1L
- ヒートアップ：200 秒 (弊社計測値)
- タンク容量：2.7L
- DMX：on board
- 寸法：W500xH235xD540 mm
- 重量：20.5kg